

地球温暖化対策実施状況報告書

2019 年 8 月 21日

（報告先）
横浜市長

住所 愛知県稲沢市天池五反田町1番地

氏名 ユニー株式会社
代表取締役 関口 憲司

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	ユニー株式会社 代表取締役 関口 憲司				
事業者の主たる 事業所の所在地	愛知県稲沢市天池五反田町1番地				
主たる事業の業種	大分類	I 卸売・小売業			
	中分類	5 6 各種商品小売業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	4,411	kl	自動車の台数	台

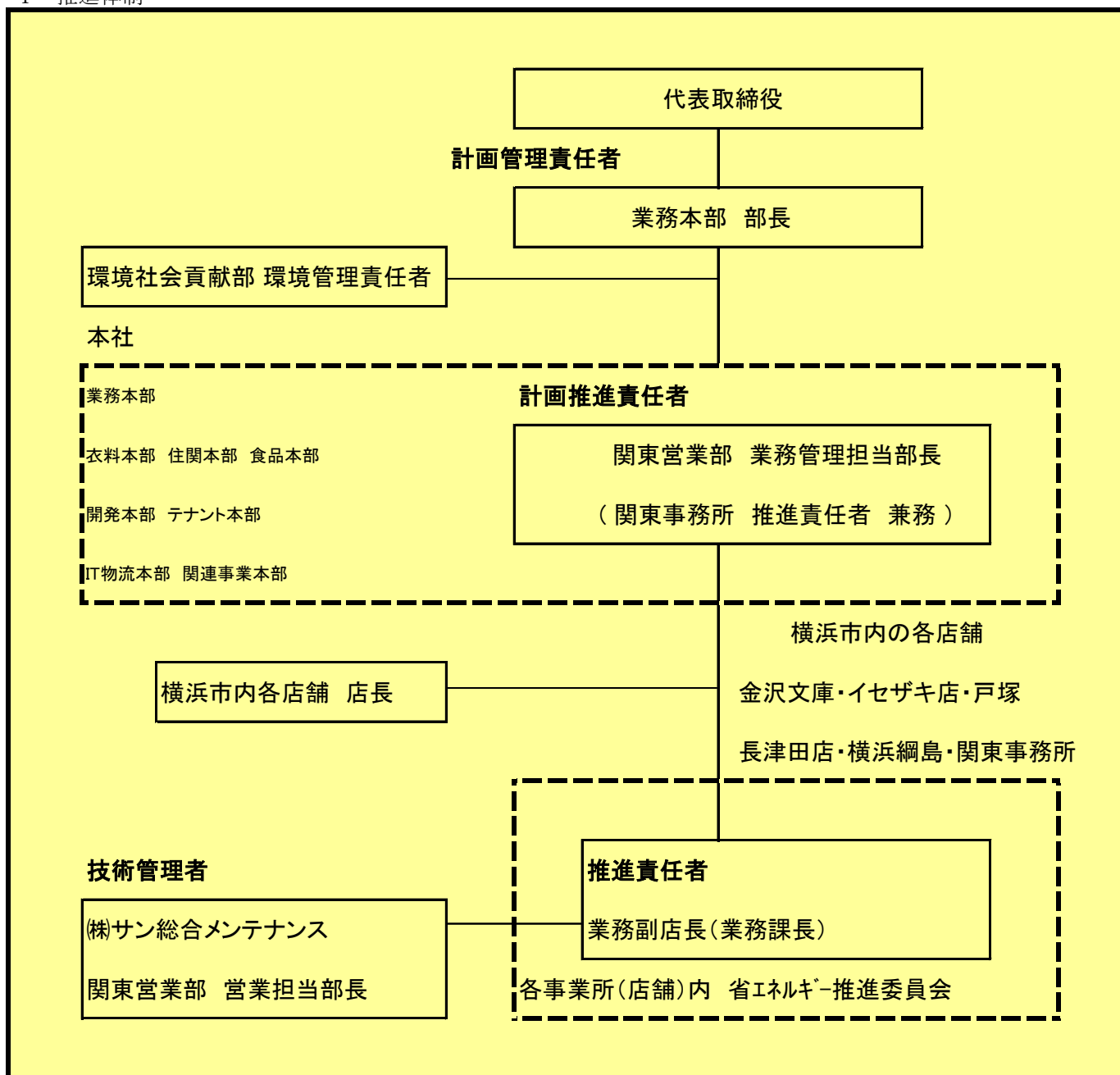
2 計画期間及び実施年度

計 画 期 間	2016	年度	～	2018	年度	実 施 年 度	2018	年度
---------	------	----	---	------	----	---------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>【基本方針】 ユニー株式会社は、持続可能な社会を目指し、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会を実現するため、以下の環境方針に基づき、継続的な環境保全活動を行っています。</p> <p>環境方針</p> <ol style="list-style-type: none">衣・食・住・余暇にわたる総合小売業として、環境負荷の少ない安全安心な商品及びサービスの提供と店舗開発の推進に努めます。全従業員が環境問題に関心を持ち、環境マネジメントシステムを機能させ、運用することにより、汚染防止の予防及び持続可能な改善に努めます。環境側面に関係して適用可能な法的要求項目、エコ・ファーストの約束及び当社が同意するその他の要求項目を遵守し、お客様ならびに一般市民・行政機関とパートナーシップをとり、人と環境にやさしい持続可能な社会の実現に努めます。持続可能な社会を目指した環境目的を設定し、営業活動を通じて、<ul style="list-style-type: none">○低炭素社会の実現のため、省エネ型店舗・サプライチェーン全体でCO2排出量の削減を目指します。○循環型社会実現のため、廃棄物削減やリサイクルの推進に努めます。また、容器包装の削減とリサイクル推進に努めます。○自然共生社会実現のため、食品リサイクルループの構築、生態系保全に配慮した商品を販売します。○次世代を担う子どもたちに、持続可能な社会について学ぶ環境学習を実施します。この環境方針を実行・維持し、また広く一般に開示して、お客様と一緒に、地球環境保全活動及び社会貢献活動を推進します。 <p>【主要なエネルギー使用設備の更新等の検討】</p> <ol style="list-style-type: none">①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備②上記①の設備を選択した理由③設備更新スケジュール
--

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	アピタ戸塚店・アピタ長津田店のサービスカウンター
	所在地	戸塚区上倉田町769番1号・緑区长津田みなみ台4-7-1
	閲覧可能時間	各店の営業時間内
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	9,629	t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	9,474	t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	9,530	t-CO ₂	削減率	1.0 %	削減率		%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	ユニーは持続可能な社会を目指し、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会を実現するために、環境方針に基づき、さらにエコ・ファースト企業として、継続的な環境保全活動を行っていきます。そのために、ISO14001マネジメントシステムを用い、具体的な環境目的および数値的な環境目標を設定し、達成するために取り組んでいます。2014年度からは、環境マネジメントシステムの範囲を店舗に拡大するためにモデル店舗4店舗で導入、2015年度には各府県に1店舗ずつ、19店舗増やす計画です。現在だけではなく、未来のことも考えて計画を立て、お客様と一緒に「環境にやさしいお買い物」で持続可能な社会を実現します。								
事業者全体としての目標等									
第一年度 (2016年度)	排出量	8,943	t-CO ₂	削減率	7.1 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	8,727	t-CO ₂	削減率	7.9 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	目標排出量を超える大幅な削減ができた。アピタ日吉店の閉店が大きな要因と推測される。								
第二年度 (2017年度)	排出量	8,336	t-CO ₂	削減率	13.4 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	7,889	t-CO ₂	削減率	16.7 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	目標排出量を超える大幅な削減ができた。ピアゴ弘明寺店の閉店が大きな要因と推測される。また、大型店舗であるアピタ長津田店のLED化工事の計画が早まり、CO ₂ 排出削減に寄与した。								
第三年度 (2018年度)	排出量	8,372	t-CO ₂	削減率	13.1 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	7,777	t-CO ₂	削減率	17.9 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	目標排出量を超える大幅な削減ができた。ピアゴ大口店の閉店が大きな要因と推測される								
計画期間全体の排出状況に関する説明	2店舗閉店及び、アピタ長津田店のLED化工事により、目標を達成できた								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂				t-CO ₂ /	
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	3,006	0	0	0	0	0	0
500k l 以上 1,500k l 未満	3	5,579	3	6,981	4	7,211	4	7,572
500k l 未満	3	1,044	5	1,962	3	1,125	2	800
合計	7	9,629	8	8,943	7	8,336	6	8,372

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	8 / 8	—	平成 年度		実施済	7 / 7	—	平成 年度		実施済	6 / 6	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	1 / 8	—	平成30年度		実施中	3 / 7	—	平成30年度	アピタ長津田店の照明LED化工事 計画変更のため未実施から実施に	実施中	3 / 6	—	2024年度	省エネ工事について計画なし	
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	5 / 8	—	平成30年度	関東事務所、弘明寺店は台帳整備のための作業費の予算化を検討中	実施中	5 / 7	—	平成30年度	台帳作成の予算検討中	実施中	5 / 6	—	2024年度	実施計画なし	
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	8 / 8	—	平成 年度		実施済	7 / 7	—	平成 年度		実施済	6 / 6	—	年度		
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施中	実施中	0 / 3	—	平成30年度		実施中	1 / 4	—	平成30年度	設備別のエネルギー使用量の作成を検討中	未実施	0 / 4	—	2024年度	実施計画なし	PPHグループに参入(組織変更)し、方向性が定まっていなかったため
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	平成 年度	GMS店舗なので蒸気配管等は未設置	非該当	/	—	平成 年度	GMS店舗なので蒸気配管等は未設置	非該当	/	—	年度	GMS店舗なので蒸気配管等は未設置	
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	3 / 3	—	平成 年度		実施済	4 / 4	—	平成 年度		実施済	4 / 4	—	年度		
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	3 / 3	—	平成 年度		実施済	4 / 4	—	平成 年度		実施済	4 / 4	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	3 / 3	—	平成 年度		実施済	4 / 4	—	平成 年度		実施済	4 / 4	—	年度		
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	0 / 3	—	平成30年度		実施中	0 / 4	—	平成30年度	需要率、負荷率の算定方法検討中	未実施	0 / 4	—	2024年度	実施計画なし	PPHグループに参入(組織変更)し、方向性が定まっていなかったため
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	8 / 8	—	平成 年度		実施済	7 / 7	—	平成 年度		実施済	6 / 6	—	年度		
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	平成 年度	地下駐車場、屋内駐車場未設置	非該当	/	—	平成 年度	地下駐車場、屋内駐車場未設置	非該当	/	—	年度	地下駐車場、屋内駐車場未設置	
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施済	実施済	8 / 8	—	平成 年度		実施済	7 / 7	—	平成 年度		実施済	6 / 6	—	年度		
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	8 / 8	—	平成 年度		実施済	7 / 7	—	平成 年度		実施済	6 / 6	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類)冷凍機 0 / 8	—	平成30年度		実施中	(設備の種類)冷凍機 0 / 7	—	平成30年度	実数値の測定方法検討中	未実施	(設備の種類)冷凍機 0 / 6	—	2024年度	実施計画なし	PPHグループに参入(組織変更)し、方向性が定まっていなかったため
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)冷凍機 8 / 8	—	平成 年度		実施済	(設備の種類)冷凍機 7 / 7	—	平成 年度		実施済	(設備の種類)冷凍機 6 / 6	—	年度		
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	平成 年度	該当ボイラー未設置の為	非該当	(設備の種類) /	—	平成 年度	該当ボイラー未設置の為	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当ボイラー未設置の為	
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	平成 年度	蒸気ボイラー未設置の為	非該当	(設備の種類) /	—	平成 年度	蒸気ボイラー未設置の為	非該当	(設備の種類) /	—	年度	蒸気ボイラー未設置の為	
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	平成 年度	蒸気ボイラー未設置の為	非該当	(設備の種類) /	—	平成 年度	蒸気ボイラー未設置の為	非該当	(設備の種類) /	—	年度	蒸気ボイラー未設置の為	
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	平成 年度	工業炉未設置の為	非該当	(設備の種類) /	—	平成 年度	工業炉未設置の為	非該当	(設備の種類) /	—	年度	工業炉未設置の為	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	平成 年度	コンプレッサ設備、未設置の為	非該当	(設備の種類) /	—	平成 年度	コンプレッサ設備、未設置の為	非該当	(設備の種類) /	—	年度	コンプレッサ設備、未設置の為	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	平成 年度	コンプレッサ設備、未設置の為	非該当	(設備の種類) /	—	平成 年度	コンプレッサ設備、未設置の為	非該当	(設備の種類) /	—	年度	コンプレッサ設備、未設置の為	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	発光ダイオードを用いた省エネルギー設備（照明）	平成29年度	LED 5kW～33.3kWを5,782台導入	蛍光灯からLED照明に変更
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	市内事業所から排出される排出量の一部	595 t-CO ₂	東京電力エナジーパートナー(株)
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	弊社は、持続可能な社会を目指し、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会を実現するため、環境方針に基づき、さらにエコ・ファースト企業として継続的な環境保全を行ってまいります。 そのため、具体的な環境目標及び数値的な目標を設定し、達成するために、今後、実施する対策を検討しています。
計画期間内に実施する対策	【エコ・ファーストの約束】 循環型社会構築を目指し、廃棄物の発生抑制と資源循環を推進します。 持続可能な社会構築のために、環境教育を実施します。 消費者の行動変革による、持続可能な社会を構築します。
第一年度実績	廃棄物計量システムの活用により廃棄物発生抑制やリサイクルの推進。 子供環境学習や従業員教育など環境に関する現場教育・集合教育の実施。 環境配慮商品を開発し販売することにより環境負荷低減への取組み。
第二年度実績	ISO14001を合計85店舗で認証取得。 エコ博を10回開催 エコフェスタを5回実施。
第三年度実績	受動喫煙防止の対応 エコ博10回開催 リサイクルループ全店に拡大 レジ袋辞退率 85%

14 実施状況等に対する自己評価

今計画において、CO ₂ 削減を大幅に達成できた
